

目 次

| | | |
|---|------------------|----|
| 1 | 線引き制度（区域区分制度）の背景 | 1 |
| 2 | たつの市の現状と悩み | 1 |
| 3 | 市街化調整区域の諸課題 | 4 |
| 4 | 線引き制度廃止の効果 | 5 |
| 5 | 線引き制度廃止先行都市の状況 | 6 |
| 6 | 市街化調整区域活性化への提言 | 13 |

提 言 要 旨

たつの市の線引き制度を廃止して地域に根ざしたまちづくりを

1 線引き制度導入の背景

1968年の新都市計画法において線引き制度を導入する。



近年、市街化を抑制する市街化調整区域のあり方を見直す声が高まる。

2 たつの市の悩み

- ・人口減少及び高齢化が進み、市街化の促進が困難な状況である。
- ・優良農地の確保、環境保全、調和のとれたまちづくりなど都市計画がめざす方向と個人の利益との調整に苦慮している。
- ・市街化調整区域では既得権による宅地が点在し、スプロール化が進んでいる。



線引き制度の廃止を検討

3 市街化調整区域の諸問題

- ・都市計画と農政の縦割り行政の弊害によるアンバランスな土地利用
- ・無秩序なスプロールと過剰なインフラ整備
- ・市街化調整区域の機能や意義と運用上の抜け穴

4 線引き制度廃止の効果

- ・規制が緩やかになり開発が行いやすくなる
- ・用途地域や特定用途制限地域を設け、土地利用規制が可能

5 線引き制度廃止先行都市の状況

都城市、笠岡市、高松市、海南市、荒尾市、新居浜市

6 提言

- ・かんじがらめに縛りつけられた「たつの市」の線引き制度の廃止
- ・「たつの市」が主体となり、地域に根ざしたまちづくりの実現



特定用途制限地域及び農業振興地域を活用することで、地域に根ざした計画を策定し、「美しいたつの市」として地域の活性化を目指す

